

歴史能力検定 第42回 (2023 年)

1 級—世界史 解答・解説

- | | | | | |
|------|------|------|------|------|
| 1—③ | 2—① | 3—③ | 4—② | 5—② |
| 6—① | 7—③ | 8—① | 9—④ | 10—① |
| 11—① | 12—② | 13—④ | 14—② | 15—③ |
| 16—③ | 17—① | 18—③ | 19—④ | 20—② |

21—農業人口が激減したため、領主は、荘園での労働力を確保するため、農民の地位待遇向上を行わざるを得ず、やがて身分的に解放された独立自営農民であるヨーマンが出現した。(80 字)

22—『諸国民の富』(『国富論』) 23—ソンムの戦い

24—マムルーク朝 25—ルイ 9 世

26—大ブリテン王国 (グレート = ブリテン王国)

27—茶法に反対した人びとがボストン茶会事件を起こした。これに対しイギリス本国がボストン港を閉鎖すると、植民地側は大陸会議を開き、対立が深まり、武力衝突に至った。(78 字)

28—林則徐 29—宗教協約 (コンコルダート)

30—急進社会 (急進共和)

1

- ①ネアンデルタール人に代表される旧人の出現は、約60万年前。②周口店上洞人は、新人。④イラクにある農耕遺跡はジャルモ。
- ②トラヤヌス帝→ハドリアヌス帝の順。③カラカラ帝→ウァレリアヌス帝の順。クラウディウス帝は、現在のイングランドであるブリタニアを征服した1世紀の皇帝。④コンスタンティヌス帝→ユリアヌス帝の順。
21. ペストの流行で農奴が減少し、農奴の地位が上昇して、ヨーマン (独立自営農民) が出現した。
3. ①アジア = アフリカ会議 (バンドン会議) は、1955年。グラフでは、都市人口は農村人口の8割に達していない。②世界貿易機関 (WTO) の発足は、1995年。④2030年以降も都市人口は減少しないと予測されている。
22. アダム = スミスは、1776年に『諸国民の富 (国富論)』を著し、経済活動の自由放任主義を提唱した。
4. ②マルサスは、人口は幾何級数的 (2→4→8→16) に増加するが、食糧は算術級数的 (2→4→6→8) にしか増加しないと考えた。

5. ①1875年にウルップ島以北の千島列島が日本領となった。③江華島事件勃発は1875年。1894年に甲午農民戦争 (東学の乱) が勃発して、日清戦争となった。④日本で米騒動がおこったのは、1918年。

23. イギリス軍がはじめて戦車を投入したのは、1916年、西部戦線でのソンムの戦い。

2

6. ②史料2には、カン (ハン) は、「キリスト教に改宗して、教皇の兄弟・友だちになることを確約した」とは書かれていない。③サルタクの父がバトゥ。④史料1・史料2からカンは、キリスト教に一切関心をもっていないわけではないと読み取れる。
7. ③Dは1206年。Cは1221年。Aは1254年もしくは1256年。Bは1290年。Eは1295年。
8. ①プラノ = カルピニをモンゴルに派遣したのは、インノケンティウス4世。第1回リヨン公会議では、神聖ローマ皇帝フリードリヒ2世の破門が決定した。②は、インノケンティウス3世の言葉。③はカリクストゥス2世。④はウルバヌス2世。

24. アイン＝ジャールートの戦いで、モンゴル軍を撃破したのは、マムルーク朝のバイバルス。
25. 史料2はルブルックの旅行記であるので、「わがフランス国王陛下」は、ルブルックを派遣したルイ9世とわかる。
9. ①②ア. オゴタイはグユクの父で、金を滅ぼし、都カラコルムを建設した。③イ. フビライはモンケの弟で、のちに元を建てた。
10. ②a アッコンは、十字軍の最後の拠点。アンティオキアは、アッコンより北方にある。アンティオキアの教会は五本山の一つ。b ニコメディアは、コンスタンティノーブルのやや東よりの小アジアにある都市。ディオクレティアヌス帝が都を置いた。c キエフ(キーウ)は、ドニエプル(ドニプロ)川流域の都市でウクライナの都。③c サライは、キプチャク＝ハン国の都。

3

11. ①Aは前18世紀頃のこと。Bは17世紀頃。ヒッタイトは前16世紀に、Aのバビロン第1王朝(古バビロニア王国)を滅ぼしている。テーベを都として新王国が始まったのは、前16世紀。
12. ①オリンポス山は、現在のギリシアにある。北マケドニア共和国は、旧ユーゴスラヴィアの一つ。③イエスは、ユダヤ教の神ではない。ユダヤ教は、唯一神ヤハウェを信仰する宗教。④アフラ＝マズダはゾロアスター教の光明神だが、シヴァはヒンドゥー教の破壊神。オリンポス12神から変化したものではない。
13. ④ア. イタリア中部のcのモンテ＝カシノに、ベネディクトゥスが修道院を建てた。イ. フランス中東部のbに建てられたクリュニー修道院は、聖職者の妻帯や聖職売買を批判し、教会改革運動の中心となった。のちにこの改革運動の影響で、グレゴリウス7世の叙任権闘争がおきた。①②フランス東部のサン＝ニコラ＝レ＝シトーには、シトー修道会が設立された。シトー修道会は、開墾運動などで活躍した。①②aはドイツのヴィッテンベルク。
26. ステュアート朝のアン女王のとき、イングランドとスコットランドが合同し、大ブリテン王国(グレート＝ブリテン王国)が成立した。アン女王が死去し、1714年ハノーヴァー選帝侯が王となり、ハノーヴァー朝が始まると、18世紀中、何度もスコットランドで反乱がおきた。
27. イギリス本国が、1773年に茶法を制定し、イギリス東インド会社が取り扱う茶は免税となった。これにより東インド会社が13植民地で茶を独占的販売する可能性が生まれたため、植民地側が反発してボストン港に停泊中の東インド会社の船から積み荷の茶葉を港に投げ捨てた。これが図にあるボストン茶会事件である。この事件に対してイギリス本国はボストン港を閉鎖し、マサチューセッツの自治権を剥奪した。植民地側は翌年の1774年、フィラデルフィアで植民地側の代表が集まる大陸会議(第1回)を開催してイギリス本国に抗議したが、対立はさらに深まり、1775年に

レキシントン・コンコードの戦いとなり、アメリカ独立戦争が始まった。

28. イギリスは、清朝から輸入する茶の代金として、インドから清朝へアヘンを密輸した。これに対して、清朝は欽差大臣の林則徐を広州に派遣して、アヘン密輸を取り締まった。この事件を口実にイギリスは、1840年に清朝との間でアヘン戦争をおこした。
14. II エリトリアがエチオピアからの独立を求め、1993年に独立を達成した。
15. コーヒーベルトは、地図から分かるように、赤道を中心に北回帰線と南回帰線の間の地域である。③ドイツは第一次世界大戦前に東アフリカでコーヒー栽培を始めた。第一次世界大戦の結果、ドイツは東アフリカを含め、すべての海外植民地を失っている。

4

16. ①盧溝橋事件がおきたのは1937年。②冀東防共自治政府が設立されたのは1935年。④満州事変の勃発は1931年。
17. ②1789年8月26日に国民議会で採択された人権宣言は、ラ＝ファイエットによって起草されたが、女性の権利に関する項目はない。これに反発したオランブ＝ド＝グージュが、1791年に「女性の権利宣言」を発表した。③ルイ16世夫妻が拘束されたヴァレンヌは、フランス北部のベルギーとの国境付近にある。④ジロンド派内閣がオーストリアへの宣戦布告をおこない、戦況が悪化するなか、パリの民衆らがテュイルリー宮殿を襲撃する8月10日事件がおきた。この事件でルイ16世夫妻が捕らえられ、王権が停止された。
29. ナポレオン＝ボナパルトとローマ教皇ピウス7世との間で宗教協約(コンコルダート)が結ばれた。なお、ローマ教皇と国家との間の協約を宗教協約(コンコルダート)といい、中世では、1122年のヴォルムス協約が有名。
18. ③Bベルギーは、1830年の七月革命の影響で独立し、翌年立憲王国として承認された。D第2次エジプト＝トルコ戦争が終結し、エジプトのムハンマド＝アリーがシリアを放棄したのは、1840年。Aアトリエ＝ナショノー(国立作業場)は、1848年の二月革命の結果、設置された。Eフランス初の万博の開催は、1855年。Cヴィラフランカの和約の締結は、1859年。
19. ④パリ＝コミューンは、プロイセン＝フランス戦争のヴェルサイユ仮講和に反発して、1871年3月に樹立された。①は戊辰戦争、②は榎本武揚や土方歳三らが樹立した蝦夷島政府(蝦夷共和国)、③はプロイセン＝フランス戦争。
20. ①②マリアンヌが描かれた絵画は、「民衆を導く自由の女神」で、ロマン派の画家ドラクロワの作品。③はゴッホ、④はクールベである。
30. 反カトリックの政党である急進社会党(急進共和派)は、クレマンソーによって結成され、この政党の活動によって1905年に政教分離(ライシテ)法が制定された。

【写真提供】ユニフォトプレス